

日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774(代)
FAX (03) 3464-1884
info@setubikogyo.co.jp
年額8,800円(税込送料込)

TOTO
システムバスルーム シンラ
SYNLA
詳細はカタログまたは
弊社WEBサイトをご覧ください。
<https://jp.toto.com>

協力覚書を対面交換



ウォンブラーナ総裁 森岡理事長

WMA総裁ら迎え絆を深める

地方共同法人日本下水道事業団（J.S.・森岡泰裕理事長）は9月12日、東京・文京区湯島の本社ビルでタイ王国下水道公社（WMA・シーラ・ウォンブラーナ総裁）と協力覚書交換式を行った。WMAへの協力覚書は今年2月に電子メールで締結。しかし対面の交換式は新型コロナウイルスの感染拡大で延期され、今回ようやく実現にこぎつけた。ウォンブラーナ総裁らが来日して両国の絆を一段と深め、タイにおける下水道事業を全面的に支援していく。

- 協力覚書における合意事項は①政策立案、計画、設計、施工、維持管理
②法制度・制度的枠組みの整備
③技術・技術評価、技術基準、マニュアル
④事業実施のための人材育成
⑤事業に関する市民啓発の推進
⑥両国の地方

配管支持金具

配管支持金具の株式会社 **アカキ**
本社 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 ☎03-3552-7331(大代表)
営業本部 ☎03-3552-7091(代表)
本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

援④WMA・タイ自治体の訪日サポートの7項目となっている。現在、タイの小規模下水道整備を促進するため、日

本日の交換式はJ.S.国際戦略室の若林淳司調査役の司会で進められた。冒頭、森岡理事長が挨拶に立ち「下水道事業における日本とタイの結びつきは長く、40年以上前から技術支援のために人的交流を行ってきた。ようやく交換式を開くことができ、たいへんうれしく思っている。さらに両国の絆を深め、タイの下水道事業の着実な発展を祈念している」と熱いエールを贈った。

続いてウォンブラーナ総裁が「覚書締結を機に両国の関係をさらに強化し、下水道事業の発展に努めていく。現在タイでは約7000カ所に及ぶ下水道事業化計画が検討されている。日本の優秀な技術を活用し、高度な下水処理を実現したい」と強い意欲を示した。

このあと森岡理事長とウォンブラーナ総裁が覚書を交換し、渡辺志津男

理事が技術確認書を手渡した。確認書は民間企業の海外向け技術をJ.S.が確認し、日本の技術の信頼性確保や品質向上に寄与することを目的としている。今回は三機工業(株)（石田博一社長）が開発し、タイで実証したDHS（下降流スポンジ状担体）による省エネ下水道技術の妥当性を確認。渡辺理事は「タイの下水道事業に積極的に活用されていくことを期待している」と呼びかけた。

また国土交通省の田嶋淳下水道国際・技術室長がウォンブラーナ総裁へカバレーター（推薦状）を手渡し「日本下水道事業団は豊富な知識・経験を有し、自治体の事業支援や民間企業の海外向け技術認証を行っている。今回は三機工業のDHS技術を認証した。タイの環境のさらなる向上を願っている」とあいさつした。

締めくくりに記念品を相互に贈呈し、記念撮影を行った。

本日の交換式はJ.S.国際戦略室の若林淳司調査役の司会で進められた。冒頭、森岡理事長が挨拶に立ち「下水道事業における日本とタイの結びつきは長く、40年以上前から技術支援のために人的交流を行ってきた。ようやく交換式を開くことができ、たいへんうれしく思っている。さらに両国の絆を深め、タイの下水道事業の着実な発展を祈念している」と熱いエールを贈った。

続いてウォンブラーナ総裁が「覚書締結を機に両国の関係をさらに強化し、下水道事業の発展に努めていく。現在タイでは約7000カ所に及ぶ下水道事業化計画が検討されている。日本の優秀な技術を活用し、高度な下水処理を実現したい」と強い意欲を示した。

このあと森岡理事長とウォンブラーナ総裁が覚書を交換し、渡辺志津男

水辺の保全・活用へ連携促進

環境省グッドプラクティス塾開催



グッドプラクティス塾リーフレット

環境省は10月7日、2022年度第1回グッドプラクティス塾を開催する。健全な水環境・水循環の実現へ民間企業や自治体、教育・研究機関などの連携を促進する情報共有・意見交換を繰り返す。

「水辺の保全・活用における連携の新たな形」をテーマに、産・民の視点から「水辺の保全・活用における連携の新たな形」をテーマに、産・民の視点から「水辺の保全・活用における連携の新たな形」をテーマに、産・民の視点から

環境省が平成26年にスタートしたウォータープロジェクトの一環として、同プロジェクトは健全な水環境の維持・回復に向けた取り組みを推進するため、同省が中心

「水辺の保全・活用における連携の新たな形」をテーマに、産・民の視点から「水辺の保全・活用における連携の新たな形」をテーマに、産・民の視点から「水辺の保全・活用における連携の新たな形」をテーマに、産・民の視点から

長が同協議会の活動状況やステークホルダーとの連携について報告。また一般社団法人竹芝タウンデザイン（JR東日本）の岡崎恭子氏が複合施設ウォーターズ竹芝に整備した干潟の造成・管理などの市民活動の現状、公益財団法人河川財団の横森源治氏が河川基金助成や河川教育に関する事例を発表を行う。

グッドプラクティス塾への参加希望者は<https://us02web.zoom.us/join/9212121212> /webinar/register/WN/ZAD636tnqR-PaZ7Rsc2a0g から申し込む。氏名、所属（企業・学校名）、メールアドレスを当日の開始時間（13時30分）までに登録する。問い合わせは事務局のinfo@watercycle.jpへ。

セパレート構造になって作業効率大幅アップ!

NEW

セパレート式給水ユニット MC5Sデビュー!

みなさまのご要望をもとに開発&改善を重ね、テラルから施工のしやすいセパレート式直結給水ブースタポンプが新登場!

セパレート構造だから

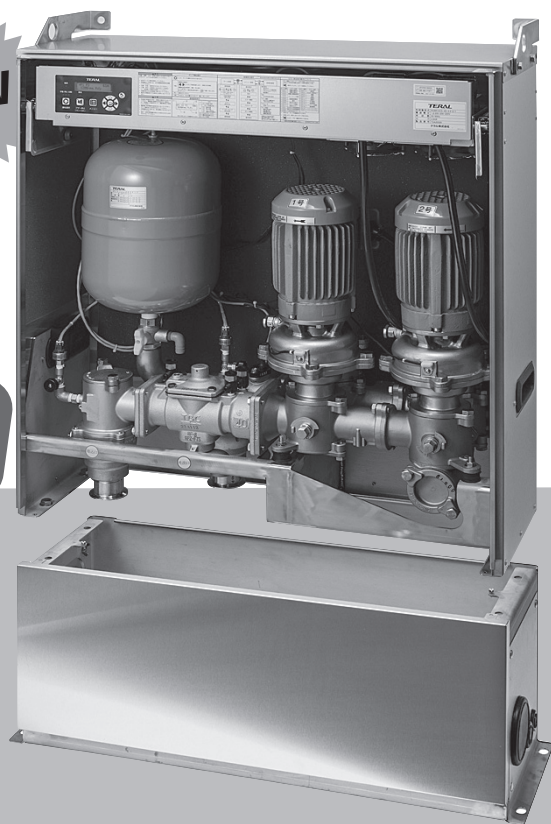
施工が
しやすい!

搬入が
しやすい!



管理人さんも
大喜び!

結果 → ① **作業時間 & 断水時間が短く!**



テラル株式会社
www.teral.net

本社 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230
TEL:084-955-1111/FAX:084-955-5777

東京支社 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル6階

詳しくは
MC5S
特設サイトへ



TERAL